

ぎなん**10月
(5)**岐南中学校教育目標
自ら動く**【 岐南フェスタ開催・岐南中生、大活躍！ 】**

キッズウィークが終わり、後期もいいスタートが切れています。いよいよ今週に控えたスポーツステーションに向けても、各学級・学年で盛り上がっています。最初の目標を立てた時とは、少しずつ変化が生まれてきていることと思います。それがあなたの学級にプラスの方向で作用することを願っています。

18日(日)には、岐南町役場で「岐南フェスタ」という岐南町のお祭りが開催されました。いちい・ふれあい学級が「いちふれマーケット」と称して、出店していました。鞆、ボールペン、キーホルダー、ティッシュペーパーケースが売られていました。「作業」の時間に作ったと話を聞きましたし、当日は大きな声で宣伝もしていて、とっても繁盛していました。生徒会のみなさんは、「モルック」という遊びを、公民館で開催していました。先日、一緒に珠洲市に訪問した執行部の子たちもいたので、「いつ準備したのだろう…？」と思いましたが、元気よく、参加する人が気持ちよくできるように、丁寧に説明しながら行っていました。またダンスに参加している仲間もいました。

岐南フェスタに参加した中学生の活動

地元のお祭りで、学校以外の人と関わることは、中学生にとって貴重な刺激を得られる場となります。自分たちの活動をやらせてもらうだけでなく、岐南町が開催する行事に積極的に参加し、協力することも大切ですし、活躍するみんなの姿を見ることができて、うれしかったです！

<自分の命を守ること！>

自転車で、岐南フェスタに参加する生徒が多かったと思います。その中で数人の中学生ですが、ヘルメットをかぶらずに自転車に乗っている生徒を見かけました。もしかするとあれも岐南中生なのかな…と思いながら、二人乗りをしている子も見ました。

(半年もたつのに、まだ顔と名前が一致なくて申し訳ありません。)

こうやって、仲間と共に、地域のためにとか人のために頑張る中学生もいる中、自分の命を守ろうとしていない中学生を見ると心配になります。「私は死なないよ～」とでも思っているのでしょうか。

今回は休日でしたが、平日、朝散歩をしていると、ヘルメットは頭に置いているものの、あごひもを締めずに乗っている生徒を見かけたこともあります。

夏休みに入る前に、太田先生が必死な思いで、ご自身の友達のお話をしてくださったことや、ヘルメットが壊れる実験を全校の前でしてくださったことを、私は忘れていません。

あなたが「人のために」とか「仲間と共に」などと一生懸命取り組むのに、自分の命を守ることに対して甘いのであれば、「人のために」という思いは薄れるような気がしています。「人にやさしくすること」と同じくらい「自分自身を大切にし、正しく律すること」は大切です。自分を守るという厳しさや責任感をもてこそ、人に示す温かさも本当の意味をもつのではないのでしょうか。

ヘルメットを正しくかぶることは、自分自身の命を守り、あなたを大切に思う人を安心させる行動です。「自分への厳しさ」と「人への温かさ」をどちらも大切にできる人になってほしいと願っています。

自転車に乗る以上、ヘルメットをかぶって、自分の命を守れる中学生でいてほしい。